

在宅療養専門部会における平成 26 年度上半期の事業実施状況
および平成 27 年度実施事業（案）について

1 平成 26 年度上半期の事業実施状況（【 】内は対応する課題）

(1) 実施済みの事業

① 事例検討会・多職種交流会【多職種の連携強化】

在宅療養に関わる医療・介護等の関係者が一堂に会し、事例の検討を通して多職種の相互理解を深めるとともに、検討会後の交流会を通して顔の見える関係づくりを行うことを目的として開催。

地区	日程	会場	参加人数
練馬	7月9日（水）	Coconeri ホール	98名
大泉	7月23日（水）	勤労福祉会館	86名
光が丘	8月20日（水）	Coconeri ホール	103名
石神井	8月29日（金）	石神井公園区民交流センター	69名

② 在宅療養シンポジウム【区民への啓発・家族の支援】

区民の在宅療養に対する理解の促進を目的として、在宅療養シンポジウム「在宅で看取るといふこと」を開催。

- ・ 日程 平成 26 年 10 月 18 日（土）午後 2 時～午後 4 時
- ・ 会場 練馬区役所アトリウム地下多目的会議室
- ・ 講師 桜新町アーバンクリニック院長 遠矢純一郎
患者家族対話推進協会代表理事 宮崎詩子
- ・ 参加人数 81名

(2) 現在実施中・検討中の事業

（実施中）

① 訪問看護出前講座・同行研修【サービス提供体制の充実】

区内病院のスタッフが訪問看護をはじめとした在宅療養について理解を深め、在宅スタッフとの連携をより円滑なものとするを目的として、訪問看護師による出前講座と、訪問看護への同行研修を実施。

医療機関名	種別	日程、協力訪問看護事業所
浩生会スズキ病院	出前	10月14日 桜台訪問看護ステーション、サンスロープ訪問看護ステーション、ジャパンケア中村橋
	同行	10月17日、20日、22日、23日、24日、27日、28日 桜台訪問看護ステーション、サンスロープ訪問看護ステーション、ジャパンケア中村橋

島村記念病院	出前	10月9日 恵光訪問看護ステーション
	同行	10月14日、21日、28日、11月4日、11日 あすなろ訪問看護ステーション
練馬光が丘病院	出前	10月21日 光が丘訪問看護ステーション、訪問看護ステーション つくしんぼ城北公園、城北訪問看護ステーション
順天堂大学 練馬病院	出前	10月30日 恵光訪問看護ステーション

② 後方支援病床の確保（在宅医療連携コーディネート事業）

【サービス提供体制の充実】

体調の変化などのため一時的な入院治療が必要と主治医が判断した患者について、区内病院・有床診療所（11 医療機関）にすみやかに入院することができる仕組みづくりを行い、患者・家族の不安や主治医の負担の軽減を図る。

- ・ 事業実施主体 練馬区医師会

※ 主治医と医療機関のコーディネートは練馬区医師会医療連携センターが実施

- ・ 受入実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
件数	4件	5件	11件	19件	14件	13件	66件

③ 情報紙「在宅で生きる」の発行【区民への啓発・家族の支援】

区民および医療・介護関係者を対象として、在宅療養に対する一層の理解促進を目的として、協議会の検討状況や具体的な取組の実施状況など、在宅療養に関する情報を定期的に発信する情報紙「在宅で生きる」を発行。

※ 第1号～第4号は別添のとおり

(検討中)

① コーディネート能力向上研修【多職種連携強化】

介護支援専門員（ケアマネジャー）の「医師や多職種とのコミュニケーション力（伝える力、必要な情報を聞き出す力）」および「ケアマネジメント力」の向上を図るため研修を実施。

単なる知識付与の研修にとどまらず、実践的なノウハウの習得や、医療職に対するコミュニケーション力の向上、他職種との相互理解の促進をねらいとする。

日程	テーマ	講師
12月10日 (水)	退院時(退院前カンファレンスを含む)におけるケアマネジャーのあり方	病院医師、退院支援看護師、主任ケアマネジャー
12月22日 (月)	日常療養時(サービス担当者会議を含む)におけるケアマネジャーのあり方	在宅医、訪問看護師、薬剤師、主任ケアマネジャー
1月21日 (水)	終末期を支えるケアマネジャーのあり方	病院医師、在宅医、訪問看護師、主任ケアマネジャー

※ 受講対象者は実務経験2年程度のケアマネジャーを想定(定員30名)

※ 1回の研修時間は2.5～3時間を想定

※ 講義、グループディスカッション、意見交換等により構成(各回共通)

② 区民啓発リーフレットの発行【区民への啓発・家族の支援】

在宅療養に対する理解の促進を目的としてリーフレットを発行する。

現在療養中の方に役立つ情報のほか、予防的な情報を盛り込むことで、今後療養生活を送ることとなったときに、在宅療養を選択肢のひとつとして認識することができるリーフレットとする。

骨子案については別紙1参照。

※ 発行スケジュール

年度	月	作業概要
26	11月	第4回専門部会開催 レイアウト案を提示。 各委員にテキスト作成の一部を依頼。
	1月	専門部会委員から原稿をいただく。 第5回専門部会開催 いただいた原稿を反映させたリーフレット案を提示。
		3月
27	4月	第1回専門部会開催 リーフレット案の内容確認。
	5～9月	入稿、印刷、配布体制整備
	10月	発行

2 平成 27 年度実施事業（案）

(1) 継続して実施する事業

- ・ 事例検討会・多職種交流会
- ・ コーディネート能力向上研修
- ・ 訪問看護出前講座・同行研修
- ・ 後方支援病床の確保（在宅医療連携コーディネート事業）
- ・ 在宅療養シンポジウム
- ・ 情報紙「在宅で生きる」の発行

(2) 新規に実施する事業

- ・ 多職種連携に向けた研修
医療・介護関係者間の連携の強化や在宅医療参入の動機づけを目的とした各種研修を企画・実施する。
- ・ 区民啓発リーフレット
在宅療養に対する理解の促進を目的としてリーフレットを発行する。
- ・ 医療・介護資源マップ（検討）
認知症を含めた在宅療養患者・家族を支える、区内の医療機関・介護事業者等に関する情報を掲載したマップの作成について検討する。